

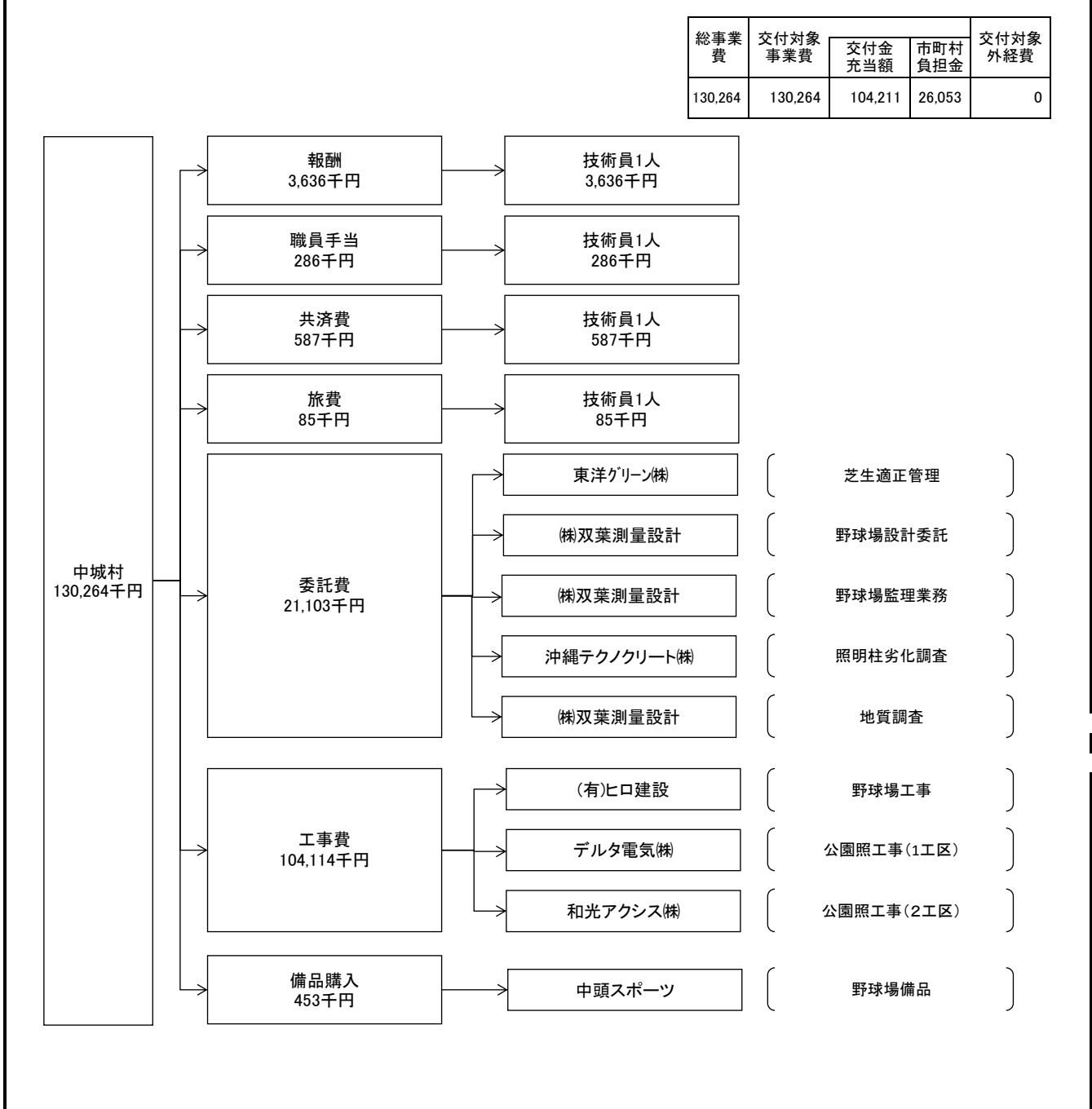
市町村名		中城村					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	吉の浦公園施設機能強化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部署名	生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-1(1)		
事業内容	地域振興及び観光誘客を図るため、健康づくりや文化振興の拠点として吉の浦公園等施設の整備を実施する。また、プロサッカーチームの合宿誘致を図るため、陸上競技場の芝生の適正管理等を行う。						
効果発現年度	■当年度		■後年度(R3年度)				
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度(繰)	
		(a)当初予算額	41,008	19,634	135,321	175,327	
		(b)予算現額	54,039	19,634	107,341	149,536	
		(c)増減額(b-a)	13,031	0	▲27,980	▲25,791	0
		(d)繰越額	0		0		45,001
		A.計(b+d)	54,039	19,634	107,341	149,536	45,001
		B.執行済額	54,307	18,684	107,341	104,535	25,729
		うち交付金充当額	43,445	14,947	85,873	83,628	20,583
		次年度繰越額				45,001	0
		執行率(%) (B/A)	100.5%	95.2%	100.0%	69.9%	57.2%
予算の状況の説明	当初の目的通り適正に執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	ごさまる陸上競技場芝生の適正管理の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	野球場機能強化整備の実施	目標	(-)	(-)	(実施)	(実施)	
		実績				実施	
	吉の浦公園等照明施設整備の実施	目標	(-)	(-)	(実施)	(実施)	
		実績				実施	
	テニスコート機能強化整備の実施	目標	(-)	(実施)	()	()	
		実績			実施		
吉の浦会館トイレ機能強化整備の実施	目標	(-)	(実施)	()	()		
	実績			実施			
達成状況説明	計画どおり予定していた事業を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)	
	プロサッカーチームの合宿誘致2件以上	目標	()	(2チーム)	(2チーム)	(2件)	()
		実績		2チーム	2チーム	2件	
	テニスコート機能強化整備の完了	目標	()	()	()	(完了)	()
		実績				完了	
	吉の浦会館トイレ機能強化整備の完了	目標	()	()	()	(完了)	()
		実績				完了	
	整備完了後1年目(R3年度)の野球場利用者数12,000人以上	目標	()	(-)	()	()	(12,000人以上)
		実績					
【照明整備】園内 夜間利用者の安全度が確保されたか(80%以上)を含め、利用者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(-)	()	()	(80%以上)	
	実績						
【照明整備】吉の浦会館 LED導入による温室効果ガス(CO2)排出量の削減効果:14.61t-CO2/年の削減	目標	()	(-)	()	()	(14.6t)	
	実績						
進捗状況説明	園内の照明灯を取り替えることで、園内利用者が安全に施設を利用できるようになった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	施設の機能強化が図られたことから、利用拡大に向けたPRが重要となる。	防犯及び、照明機能を十分に発揮するために、周囲の樹木伐採を行っている。ウォーキングなどで利用す際、木陰が無いため、利用者への熱中症対策など検討していく必要がある。

今後の取り組み方針

施設機能強化による利便性向上について村HPや広報で周知するとともに、村体育協会やスポーツ推進協議会等の関係団体と連携し、各種大会での活用を促す等、利用拡大に取り組み、地域振興を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札により業者を決定しており、適正であった。 ○各工事及び設計委託に関して、相見積が出されており、適正な業者選定及び規模である。 ○費目・用途について事業目的達成に必要な工事費に充当し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		中城村					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑥	私立幼稚園等整備促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
担当部署名	こども課	事業実施(予定)年度	令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3		
事業内容	5歳児のみを受け入れる村立の全ての幼稚園(2園)を廃止し、村の意向を順守した私立幼稚園等の教育・保育施設の整備を促進する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R8年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度	
		(a)当初予算額	334,950	-			
	(b)予算現額	186,717	-				
	(c)増減額(b-a)	▲148,233	-				
	(d)繰越額	153,211	153,211				
	A.計(b+d)	339,928	153,211				
	B.執行済額	33,507	153,211				
	うち交付金充当額	13,402	61,284				
	次年度繰越額	153,211	-				
	執行率(%) (B/A)	9.9%	100.0%				
予算の状況の説明	適切に予算執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	用地購入(6筆)の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	公募要領策の委託	目標	(完了)	()	()	()	
実績		完了					
達成状況説明	令和2年度に用地購入(2筆)と公募要領策定を完了し、令和3年度に残りの用地購入(4筆)を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5・8年度)
	用地購入(6筆)の完了	目標	()	(6筆)	()	()	()
		実績		6筆			
	公募要領策定完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
	幼児:就学前に3年教育を受けた小学1年生の割合64%以上	目標	()	()	()	()	(64%以上)
		実績					
保護者:3~5歳待機児童9名以内	目標	()	()	()	()	(9名以内)	
	実績						
進捗状況説明	令和2年度に用地購入(2筆)と公募要領策定を完了し、令和3年度に残りの用地購入(4筆)を完了した。						

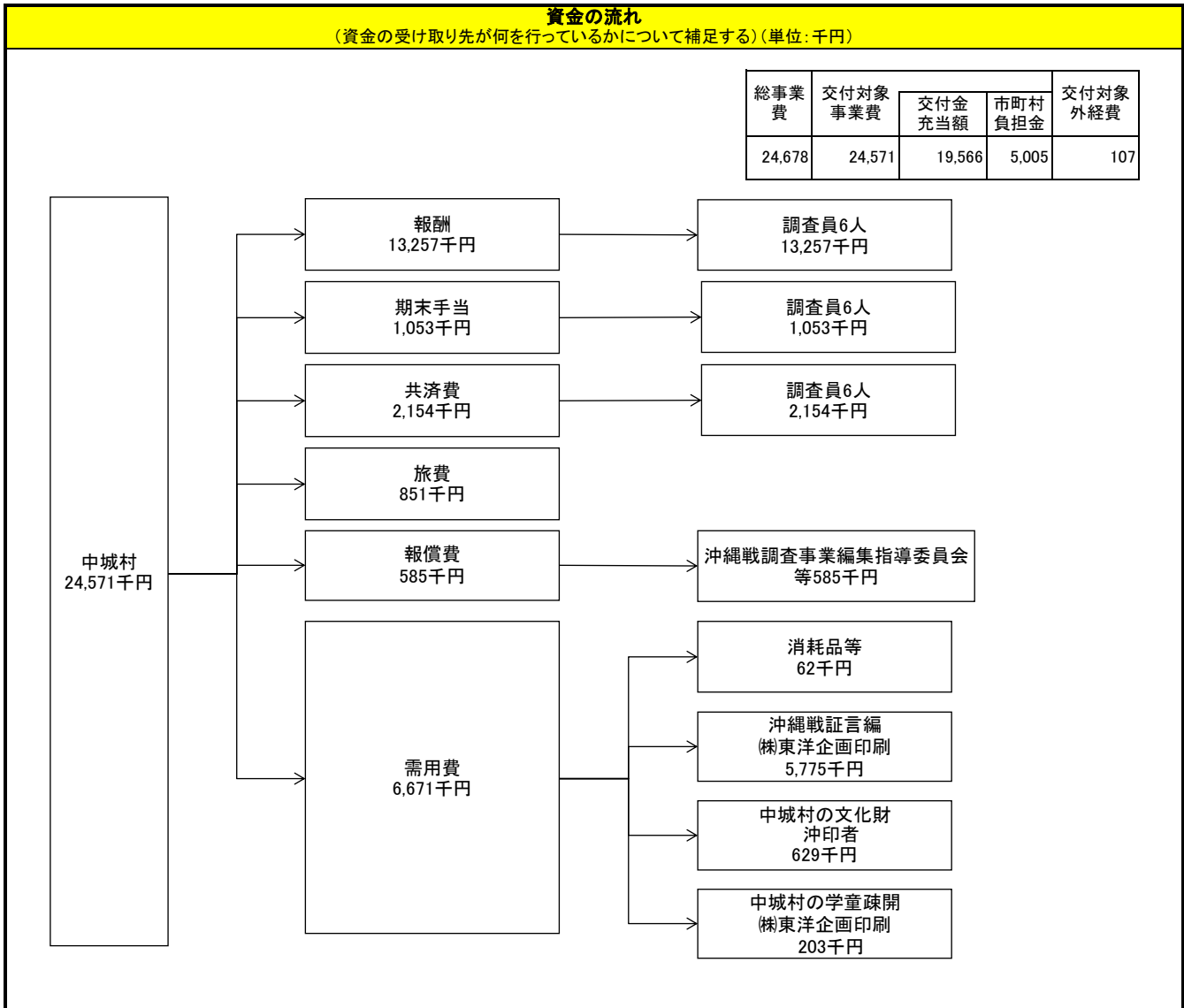
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	令和2年度で公募要領を策定できた。 また、用地購入については令和2年度で6筆購入予定でしたが、交渉が長引いた為、令和2年度に2筆、令和3年度に4筆購入した。	一部繰越事業となったが、当初の計画どおり事業を完了できた。
	今後の取り組み方針	
令和2年度で公の役割を引き継ぐ事業者を公募により選定しており、令和5年度に開園予定。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>186,717</td> <td>186,717</td> <td>149,373</td> <td>37,344</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	186,717	186,717	149,373	37,344	0	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
186,717	186,717	149,373	37,344	0										
中城村 186,717千円	委託費 5,834千円	オリジナル建築設計室 440千円 (株)国土鑑定センター 499千円 4,895千円	概略図作成委託業務 不動産鑑定評価委託業務 物件補償費鑑定委託業務											
	用地購入費 166,776千円	地権者 6名 166,776千円												
	物件補償費 14,107千円	補償対象者 9名 14,107千円												
資金の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託費の物件補償費鑑定は指名競争入札により選定しており、また、概略図作成及び不動産鑑定評価委託は地方自治法施行令第167条の2の規定に則り随意契約より実施しているため、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、鑑定評価に基づいた価格となっており、適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものに限定され、支出等に関する書類により確認でき、適正であった。											
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		中城村				
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-①	文化財悉皆及び中城村沖縄戦調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア
担当部署名	中城村教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖繩の文化の源流を確認できる環境づくり	
事業内容	村民の文化財保護意識の高揚と文化財の活用を図るため、村内文化財の悉皆調査を行い文化財の位置及び現況を把握することや、村内の沖縄戦に関する遺跡の所在、体験談を記録に残し、次世代に継承するため調査事業を行う。					
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R4年度)					
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度(繰)
		(a)当初予算額	22,796	33,540	25,008	26,689
	(b)予算現額	21,140	33,540	20,262	18,796	-
	(c)増減額(b-a)	▲1,656	0	▲4,746	▲7,893	-
	(d)繰越額			0	6,655	6,655
	A.計(b+d)	21,140	33,540	20,262	25,451	6,655
	B.執行済額	21,098	29,991	19,777	18,903	5,775
	うち交付金充当額	16,877	23,993	15,821	15,036	4,620
	次年度繰越額				6,655	0
	執行率(%) (B/A)	99.8%	89.4%	97.6%	74.3%	86.8%
予算の状況の説明		不用額は印刷物刊行の入札残による印刷製本費の減によるもの。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	①文化財悉皆調査 「中城村の文化財」500部の発刊、配布	目標	()	()	()	(発刊・配布)
		実績				発刊・配布
	②「中城村の沖縄戦 証言編」500部の発刊、配布 「中城村の学童疎開」リーフレット1,000部の発刊、配布	目標	()	()	()	(発刊・配布)
		実績				発刊・配布
	③戦跡めぐり1回 対象:村民	目標	()	()	()	(1回)
		実績				未実施
	【文化財悉皆調査】 各集落での聞き取り調査の実施	目標	(3字)	(2字)	(3字)	()
		実績	3字	2字	3字	
【文化財悉皆調査】 調査概報(各字パンフレット)の作成:3字(合冊)	目標	()	()	(3字)	()	
	実績			3字		
【文化財悉皆調査】 「中城村の拝所」の作成	目標	()	()	(冊子の作成)	()	
	実績			冊子の作成		
【中城村沖縄戦調査】 調査員による沖縄戦調査	目標	(調査の実施)	(調査の実施)	(調査の実施)	()	
	実績	調査の実施	調査の実施	調査の実施		
【中城村沖縄戦調査】 中城村戦跡マップの作成	目標	()	()	(マップの作成)	()	
	実績			マップの作成		
達成状況説明	・これまでの調査で収集した成果をまとめた各種冊子を発刊及び配布することができた。 ・戦跡めぐりについては新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかつたため、状況を踏まえR4年度以降に実施する。					
R3成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
①「中城村の文化財」500部の発刊、配布	目標	()	(-)	(-)	(発刊・配布)	()
	実績		-	-	発刊・配布	
②「中城村の沖縄戦 証言編」500部、「中城村の学童疎開」リーフレット1000部の発刊、配布	目標	()	(-)	(-)	(発刊・配布)	()
	実績		-	-	発刊・配布	

成果目標 (指標) 及び進捗状況	③沖縄戦に対する理解が深まったか(80%以上)を含め、参加者に対してアンケートを実施し本事業のあり方を検証する。	目標	()	(-)	(-)	(80%)	()
		実績		-	-	未実施	
	悉皆調査率 沖縄戦の調査における記録	目標	()	(72%)	(83%)	()	()
		実績		75件 72%	100件 83%		
	移民に関する基礎調査	目標	()	(-)	(基礎調査の完了)	()	()
		実績		-	基礎調査の完了		
【参考指標】 作成した発刊物を活用した展示会の参加者	目標	()	(-)	(1,000名以上)	()	(3,200名)	
	実績		-	1,297人			
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「中城村の沖縄戦証言編」の発刊に遅れが生じたため、展示会とアンケートはR4年度に開催する。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	コロナ等感染症蔓延防止措置のため、沖縄戦証言者(高齢者)宅に発刊物への証言掲載許可の同意のための訪問が厳しく、電話や文書などでの調整に時間がかかってしまった。 証言者(話者)多いと調整に時間がかかるため、今後、時間短縮が課題である。	これまで収集した証言記録だけでなく、今後新たな証言が収集された際に、既存の記録に追加することが出来るように記録データの保存管理機能を向上させる必要がある。
今後の取り組み方針		
調査成果展の実施や学校での平和教育、公共施設等で開催される(終戦記念日、慰霊の日に関する)企画展等でのこれまで発刊した発刊物も含めた資料の提供を実施する。		



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○印刷業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の約13%であり、適正規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	